

女性の相談支援事業【三重県】

個別事業費	5,102 千円
交付金額	2,551 千円

地域の実情と課題

- ・新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに増加した相談件数は、以前として高止まりしている
R6:2,558件 R5:2,390件 R4:2,203件 R3:2,243件 R2:2,587件
- ・コロナ禍で人との交流を制限されて以降、社会とのつながりを復活することができないといった悩みを抱える女性が増加しており、孤独や孤立を加速させないよう取り組んでいく必要がある

目的・目標

- ・女性の相談需要に対応すること
- ・不安や孤独を抱える女性に、社会とのつながりの場を提供すること
- ・フレンテみえの女性相談(電話、面談、法律、心理)の件数
目標:2,800件 実績:2,558件
- ・居場所づくり事業参加者満足度
目標:85% 実績:95.6%

事業の特徴

- 社会とのつながりを回復させたい女性に寄り添った支援を行うため三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」に委託して以下の取り組みを実施した
- ・相談体制の充実(女性相談員の1名増)
 - ・心理面においてより専門的な支援を実施するため、臨床心理士による心理相談の実施
 - ・孤独や孤立を抱える女性を対象に社会とのつながりを回復するための交流を行う居場所づくり事業の実施

連携団体

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」登録団体
輝くみえのミライ☆三重県会議
三重県男女共同参画審議会
三重県文化振興事業団評議員会

【参考】

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」パートナーグループ
NPO、市民団体、子ども食堂等

事業の効果

- ・孤立や困難を抱える女性による相談ニーズが依然として高く、女性への相談ニーズに対応するとともに、社会とつながる契機となる居場所づくりをすることができた
- ・相談窓口等を通じて、女性が必要な支援機関等(医療、福祉、雇用、警察等)につながることができた

今後の課題

- ・孤独や孤立に悩む女性からの相談件数は依然として多く、引き続き相談需要にこたえるための相談体制の拡充を図るとともに、孤独や孤立を解消し、社会へとつなげていくための交流や支援をしていく必要がある
- ・必要とする人に相談窓口の存在が十分に届いていない現状もあり、広報手段の工夫や対象者に応じた情報発信の強化が課題である

事業の概要

①相談支援体制の充実

(1) 相談員の増員

コロナの感染拡大を背景に大幅に増加した相談に対応するため、フレンテみえの女性のための電話・面接相談に対応する女性相談員を1名増員しました。

《相談件数 2,451件》

(2) 臨床心理士による心理相談の実施

深刻な悩みを抱える女性に対して、臨床心理士が心理カウンセリングの手法を用いて、電話による相談支援（心理相談）を実施しました。

《相談件数 36件》

②居場所づくり事業

「わたしが“わたし”で居ていい場所」をコンセプトに、お互いを尊重しあい、心理的安全性が高く心地よくいられる場づくりをめざして、日常生活や仕事、家族、子育て、介護などの不安や悩みを抱えていたり生きづらさを感じたりしている女性の皆さんが、ぷらっと立ち寄って安心して過ごせる空間「ぷらっとふれんて」を全4回開催しました。《参加者 計100人》

「ちょっとひと息」が、この活動を通して「あんなに楽しくて」「とても喜んで」

[illegible][illegible]